



講師高橋さん

講演は9月10日(土) 2時から蓮田市立図書館で開催。当日は、蓮田市長、白岡市副市長、同教育長も来賓として出席し、祝辞をのべられました。講師は青年海外協力隊の和気尚美さん(シリア)、シニア海外ボランティアOGの高橋利恵子さん(モロッコ)で指導科目はそれぞれ環境教育と理科教育。最初に和気さんが演壇に立ち協力隊参加の動機、現地での活動、

JICA 第10回 国際文化スタディ 青年海外協力隊及びシニア 体験講演

(モロッコ・シリアについて語る)

現地での日常生活について語りました。現地では互いにハグしたりして体に接触することを通じて友情を確認することとで、日本式の挨拶は友情が希薄とみなされるそうです。シリアは現在内戦状態ですが、和気さんが派遣されていた2011年はまだ内戦は始まっておらず、2年にわたり現地の同僚とともに環境地図の作成等に従事できたとのこと。また帰国後も現地の友人と連絡を取り彼らの安否を気遣っており、自分に何ができるかなどを自問自答している姿に感銘を受けました。続いて高橋さんが登壇し国際協力に係わるようになったきっかけ、アフリ



蓮田・白岡地方ユネスコ協会



講師を囲んで記念撮影

カ大陸に対する思い入れ、現国王による近代化、一夫多妻制の実情、低い進学率のマジック(モロッコでは義務教育でも落第があり卒業できずに退学してしまう由)など懇切丁寧な説明があり、予定時間を超過しての終了となりました。参加人数は40人程度でしたが青年海外協力隊の希望者も多数参加され、講演終了後熱心に質問されておりました。なお、当日はテレビ(J-COM)、新聞社(埼玉よみうり)の取材を受けました。(雲見 記)



講師和気さん

10月7日 於・蓮田市立中学校体育館にて開催、講師は第33次日本南極越冬隊長兼観測隊長として活躍された福地光男先生(現在国立極地研究所名誉教授、当協会会員)にお願いいたしました。全校生徒、職員、保護者、当ユネスコ会員、450名



講演風景



講師福地先生

青少年ユネスコ
活動助成事業
ユネスコスクール認定
記念講演会
「なぜ南極越冬隊の
仕事を選んだか」
福地光男先生が語る

3年生の感想文
本日は私たちのためにわざわざ蓮田中学校まで来てくださりありがとうございます。今までは私は南極というものに対して興味をもつことがありませんでした。しかし今回の講演会で福地先生のお話を聞いて、南極に人々が魅せられる理由がよくわかりま



越冬隊服装

の方々約1時間30分熱心に聴講されました。福地先生は、1・2・3年生の「理科の教科書」を熟読され要旨をプロジェクターにて投影、南極の氷と普通の氷の違いを現物にて説明。質問にはわかりやすくお答えいただきました。生育地、宇都宮から北海道、南極へと進んだ経験を話されました。生徒たちには今後の進路の参考になったと思います。保護者の方々も熱心にお聞きになっておりました。(江口 記)



花束贈呈



南極の氷



した。先生は学生時代での経験が今活かしていることを知り、自分が興味のあることをとことん追求するのは素晴らしいことなのだと思ふことが出来ました。今日の講演会で学んだことを、自分の進路実現に活かしていきたいと思ふます。

ユネスコスクール 認定記念

南極越冬隊の活動を
通して地球環境を考える
11月21日(月)
於・中央小学校体育館



講師 福地先生



講演風景

昨年、同校がユネスコスクール認定を受け当協会が記念して開催させていただきました。講師は今回も蓮田中学校と同様に福地光男先生にお願い致しました。4・5・6年生の生徒、保護者、職員、ユネスコ会員350名の方々が熱心に聴講されました。プロジェクトに富士山と蓮田小学校の位置、温度差を大写され、“南極の氷”と“普通の氷”との違いを説明。講

演途中先生との質疑応答があり関心の深さが伝わってきました。
第一次隊を乗せた初代南極観測船「宗谷」が出航したのは1956年11月8日、今から60年前になります。(江口記)



南極の氷

6年生の感想文…今日の「ユネスコ講演会」について、ふり返ってみました。まず一番が、最初におどろいたのは「ユネスコスクール」が埼玉県には4校しかなかったことです。私は、自分の学校がこの4校の中の1つの学校にいるんだと思うとすごくうれしくなりました。そして、北極は大陸じゃないということ、すぐおどろきました。昔から、「南極と同じ(似ている)」というイメージが強かったからでしょう。また、南極の氷がパチパチという音がするのも不思議と思いワクワクしました、それと同時にすぐ側でその音を聞く

ことができた代表の人たちをうらやましがる自分がいました。今回の講演で自分には温暖化を進めさせないために何ができるかを深く考えることができました。地球を守るためにがんばっていきましょう！



とけてる・・・



花束贈呈



宮内校長、橋教頭、田村会長、福地講師、山口議長、飯野教育委員

法人会員紹介

東商事株式会社

内田 照男

(うちだ てるお)



①法人名は、東商事株式会社私は、代表取締役

役 内田照男会社所在地は板橋区高島平一丁目

目でとなりの蓮根と云う町で私は生まれ育ち

ました。②43年にトミコシ会館と云うビルを

仲間数人で建てボーリング場とパチンコの遊

技場をオープンさせました。ボーリング場の

お客様は皆さん古いお客様で今ではおじいちゃん、おばあちゃんが

元気でボーリングを楽しんでいます。私と蓮田・白岡地方ユネスコ

協会との係わりは4年前に事務局の平賀



白鳥 貴美 (しらとり たかみ)

セブンイレブン船橋米ヶ崎店



会社外観

栄美子さんに誘われて入会させていただきましたが何も協力すること出来ず心苦しく思っています。③今後蓮田・白岡地方ユネスコ協会におかれましては田村勝彦会長のご指導の元、会員皆様の益々のご活躍、ご発展 ご期待申し上げます。

①法人・執筆者
②今までの歩み
③ユネスコ活動への抱負
(敬称は省略しています)

セブンイレブン①セブンイレブン船橋米ヶ崎店
店長 白鳥貴美 ②

しらとりたかみ ③千葉県船橋市

東京都墨田区生まれスカイツリーのすぐそばです。④会長田村氏の部下として会社員として働いておりました。ユネスコ成立と同時に主人が独立をし、私も会社を退職して店を手伝っています。主人と私は公私共に田村会長にお世話になつており、ユネスコの活動にも参加させていただいております。⑤文化遺産めぐりは素晴らしい企画と思つてます。ぜひ続けて下さい。



店舗外観

2016 年度 関東ブロック・ユネスコ活動研究会 イン東京

於・青山学院大学
9月3日(土) 4日(日)

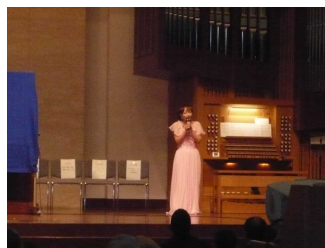


関東ブロック研究会 出席者

開会式に先立ち若者たちのバイオリン、チェロ演奏・合唱に続き、内海恵子氏によるバッハの名曲が、パイプオルガンで厳かに奏でられ、オープニングを飾った。主催者挨拶では会員の拡充に努力していきたいとの話もあり、自省が必要と感ずる。基調講演は脳科学者の茂木健一郎氏、「他者と関わるネットワークを通じた創造への道」である。異質な他者が結びつく事が大切である という切り口で始まった。共感と非共感から生じるバイアス(クレールとカイジャンスクーの例を紹介)、争いごとの基本的な深層はみんな同じである。そして、最近では、マインドフルネス(多様性を残したまま全てを受け入れる)がポイントになっているとの紹介もあり、興味を覚えました。現代の多様性について目配せしていくか、今のユネスコ活動も視点を見直す必要があるのでは、警鐘として受け取っていきたく感じました。来年は、民間ユネスコ活動70周年、どのような変貌方針が打ち出されるのか、大変気になります。(半田記)



バイオリン演奏



パイプオルガン演奏者 内海恵子さん

第二分科会報告テーマ1
・「青少年問題と次世代育成」若い担い手の組織化とその課題

太田ユ協発表2泊3日、100名の青少年対象の英語キャンプを14回

続けている事例発表であった。実施して見える課題は従来参加の若手メンバーも集まりにくく、運営も理事の高齢化が進み、活動に活性が無くなりつつあるのが悩みであるとの事。キャンプは発表者・佐藤理事の情熱と、企画力、自己犠牲を厭わぬ努力で発展継続している様子。誰かが中心となり、無我となつてやらねば事は成就しない。ユ協設立49周年290名(市長以下全職員・学校長・教頭が皆会員)を擁する、行政とも恵まれた協会である。協会の直面する課題と何ら変わり無い事に衝撃を覚え、今後は課題シ

エアして意見交換したいと終了後挨拶した次第である。2・子供の暗唱を「楽しむ会」の実践
深谷地方ユ協発表設立15年40名の協会で地域の生んだ沢栄一翁の教え・論語・立志・忠恕を是としてその教育活動の一環で4年前に暗唱大会を始めた。今や市民文化会館も満席となるような事業に成長した。発表者は校長歴任者(関口良子氏)で教育現場に切込む最適任者であり、その情熱と地域の文化的土壌がうまく融和して此の企画が成功しつつあるとみた。共通して感じた事は連盟や私達が掲げている「会員の拡充」とは直結しないが、後年効果が現れて来るか・本心に粘り強く期待するのみである(田村記)



分科会の様子

第3分科会「世界遺産・未来遺産」発表内容1「世界に誇れる我が町の伝統文化」小学校が伝統文化を授業に取り入れている。2、「世界遺産・地域遺産から学ぶ平和の尊さ・自然への畏れ・人間の知恵」無償の写真展を開催して後世に伝えようとしている。(杉原記)



分科会の様子

第4分科会「戦争と平和について考える」会倫ユネスコ協会(林昭夫様)学習塾経営「平和に鐘を鳴らそう運動」地元寺院と組んで17年続けている。活動は外部の人に良く見えるようにするー事前に新聞社、TV、マスコミ訪問し取り上げて貰う活動をする。訪問できない処やNHKにはDVDを送る等の活動が必要である。「平和を語り継ぐ会」120名の参加者があり今後も地域社会に根ざした活動にしたい。玉川大学ユネスコクラブ、室久・近藤両会員による「ポーランドと広島スタディで考えた事」広島訪問「戦争、被爆体験が少なくなり私たちに引き継ぎ語りつぐことが大事、ポーランド訪問ーアウシュビッツ訪問ー①ポーランド人の寛容さ②政治に関心を持ち続ける③同じ過ちを繰り返さない等強く感じた。学生として戦争を体験していない世代として、今後何をすべきか、民間ユネスコ草の根運動から孫の時代まで語り継ぐ事、負の遺産、現場を見ることが大切、そこから新しい発想が必要であると述べていた。(飯島記)

第5分科会

世界

寺子屋運動と国際交流・支援①土浦ユネスコ協会では外国人就労者の増加に伴い、日本語教室を通して日本語の読み書きだけでなく、文化・風習等を理解してもらうために食文化交流や一泊温泉旅行を実施する等様々な試みを実践。②世界寺子屋運動に特化して集まった千葉県印旛地区ユネスコ協会連盟は、共同で支援を行っており、その成果を確認・報告すべく支援先へのスタディツアーを実施。いずれも地域や支援先に根差した寺子屋運動の実施は素晴らしいと感じた。(山本記)

次回は千葉県ユネスコ連絡協議会が担当になります。



第13回地域文化遺産
スタディ
2月18日(土) 開催

西新宿郵便局・東商事(株)
日本信号(株)様へ
連盟より感謝状
8月

両社並びに郵便局他地
区の皆様方のご協力に感
謝いたします。
今後とも宜しくお願
いいたします。



関根局長へ感謝状贈呈
(右から二人目)

蓮田西新宿、蓮田駅東
口、蓮田・白岡郵便局、
蓮田図書館他に、回収箱
を設置しておりますの
で、書損じハガキ・プリ
カ等ご協力をお願い致し
ます。識字教育支援、私
達ユネスコ活動に使用さ
せていただきます。(支
援先、カンボジア他)

2016年度の歩みと主な活動

月	日	曜日	活 動 内 容	会場等
4	5	火	埼玉県ユネスコ連絡協議会理事会・総会	深谷市教育会館
	9	土	理事会	蓮田市中央公民館
	23	土	2016年度年次総会 終了後(第9回寺子屋講座)	蓮田市図書館
5	21	土	理事会	蓮田市中央公民館
	28	土	第15回文化遺産めぐり	築地市場・歌舞伎座
6	11	土	理事会	蓮田市中央公民館
	25	土	第72回 日本ユネスコ運動全国大会in沖縄	沖縄県宜野湾市
	26	日	第67回日本ユネスコ協会連盟年次総会	//
7	9	土	理事会	蓮田市中央公民館
	28		会報15号発行	
8	13	土	理事会	蓮田市中央公民館
9	3・4	土・日	関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京	青山学院大学
	10	土	理事会 第10回国際文化スタディ(JICA青年海外協力隊・シニア)	蓮田市図書館
10	7	金	蓮田中学校講演会(青少年育成事業) 講師:福地光男先生 なぜ南極越冬隊の仕事を選んだのか	蓮田中学校
	15	土	理事会	蓮田市中央公民館
11	1~		書きそんじハガキ回収キャンペーン開始(11月~3月)	
	12	土	理事会	蓮田市中央公民館
	21	月	蓮田中央小学校講演会(青少年育成事業) 講師:福地光男先生 南極越冬隊の活動を通して地球環境を考える	蓮田中央小学校
12	10	土	理事会	蓮田市中央公民館
	21	水	ユネスコスクール講演慰労・10周年記念事業準備委員会発足の会 員交流会	
	下旬		会報16号発行	
1	14	土	理事会	蓮田市中央公民館
2	11	土	理事会	蓮田市中央公民館
	18	土	第13回地域文化遺産スタディ「わが町を知る」伊奈氏一族の活躍 と功績:講師和泉清司先生	はびすしらおか
3	11	土	理事会	蓮田市中央公民館

特別企画:2016年3月30日 「バグパイプと南極の話を聞く」日豪交流会開催
講師:Dr.マーチャント・Dr. ホーシ 来日記念

当日は中野市長・西山
教育長・檜田課長・山口
市議会議長・斉藤議員も
参加され激励のお言葉を
頂きました。
ユネスコスクール開催
時の福地先生への謝意と
準備委員の熊倉・向山両
氏の紹介が会長田村から
ありました。終始和やか
な雰囲気の中お開きとな
りました。



杉原 斉藤 熊倉委員 向山委員 対馬
飯島(副)山口議長 西山教育長 田村会長 中野市長
平賀 松沢 檜田課長 福地先生
(参加者:敬称略)

福地先生の慰労兼
10周年準備委員の紹介

忘年会の開催
12月21日(水)

編集後記

今回の編集作業も
日程ぎりぎりの発行
となつてしまいまし
た。今後も自己研鑽
いたしますので、投
稿や編集のご指導・
ご協力をお願い致し
ます(杉原 記)